6次二面体群 D_6 は次のように定義される。

$$D_6 = \langle \alpha, \beta \mid \alpha^6 = \beta^2 = e, \ \alpha\beta = \beta\alpha^{-1} \rangle \tag{1}$$

e は単位元、 α は回転、 β は鏡映を意味している。

具体的な D_6 の元は次の通り。

$$D_6 = \{e, \alpha, \alpha^2, \alpha^3, \alpha^4, \alpha^5, \beta, \alpha\beta, \alpha^2\beta, \alpha^3\beta, \alpha^4\beta, \alpha^5\beta\}$$
 (2)

問題

6次二面体群 D_6 の部分群を全て求めよ。

.....

 D_6 の元の位数

[位数 1]
$$e$$
 [位数 2] $\alpha^3, \beta, \alpha\beta, \alpha^2\beta, \alpha^3\beta, \alpha^4\beta, \alpha^5\beta$ (3)

[位数 3]
$$\alpha^2, \alpha^4$$
 [位数 6] α, α^5 (4)

元の位数から巡回群は次の 10 個になる。

$$[位数 1] {e}$$
 (5)

[位数 2]
$$\{e, \alpha^3\}, \{e, \beta\}, \{e, \alpha\beta\}, \{e, \alpha^2\beta\}, \{e, \alpha^3\beta\}, \{e, \alpha^4\beta\}, \{e, \alpha^5\beta\}$$
 (6)

[位数 3]
$$\{e, \alpha^2, \alpha^4\}$$
 (7)

[位数 6]
$$\{e, \alpha, \alpha^2, \alpha^3, \alpha^4, \alpha^5\}$$
 (8)

部分群 $\langle \alpha^k, \alpha^l \rangle$ は $\alpha^{k+l} \in \langle \alpha^k, \alpha^l \rangle$ である。これにより $\langle \alpha^{k+l} \rangle \subset \langle \alpha^k, \alpha^l \rangle$ である。 β を含まない部分群のうち最大のものは位数 δ の $\langle \alpha \rangle$ である。この為、 α や α^5 を含む部分群 $\langle \alpha^k, \alpha^l \rangle$ は $\langle \alpha \rangle$ と一致する。 α や α^5 を含まないのは $\langle \alpha^2, \alpha^4 \rangle$ のみだが、 $\langle \alpha^2, \alpha^4 \rangle = \langle \alpha^2 \rangle$ である。これらにより部分群 $\langle \alpha^k, \alpha^l \rangle$ は巡回群のどれかと一致する。これは生成元が δ つ以上の場合 δ

次に α^k と β を含む元から生成される部分群を考える。

 $\langle \alpha^k, \beta \rangle$ の部分群は $\langle \alpha^k \rangle$ に β を付け加えた部分群になる。 $\langle \alpha^k \rangle$ は 3 種類あったので、つぎの 3 つとなる。

$$\langle \alpha, \beta \rangle = D_6 \tag{9}$$

$$\langle \alpha^2, \beta \rangle = \{ e, \alpha^2, \alpha^4, \beta, \alpha^2 \beta, \alpha^4 \beta \}$$
 (10)

$$\langle \alpha^3, \beta \rangle = \{ e, \alpha^3, \beta, \alpha^3 \beta \} \tag{11}$$

 $\langle \alpha^k, \alpha^l \beta \rangle$ の形の部分群は元 β を含めば上の 3 つのどれかと一致する。この為、上と一致しない部分群は次の 3 つになる。

$$\langle \alpha^2, \alpha \beta \rangle = \{ e, \alpha^2, \alpha^4, \alpha \beta, \alpha^3 \beta, \alpha^5 \beta \}$$
 (12)

$$\langle \alpha^3, \alpha\beta \rangle = \{e, \alpha^3, \alpha\beta, \alpha^4\beta\} \tag{13}$$

$$\langle \alpha^3, \alpha^2 \beta \rangle = \{ e, \alpha^3, \alpha^2 \beta, \alpha^5 \beta \} \tag{14}$$

 $\langle \alpha^k \beta, \alpha^l \beta \rangle$ の形の部分群は必ず α^{k-l} を含む。

$$\alpha^k \beta \alpha^l \beta = \beta \alpha^{-k} \alpha^l \beta = \beta \alpha^{l-k} \beta = \alpha^{k-l} \tag{15}$$

この為、上記6つの部分群のどれかと一致する。

3つ以上の元から生成される部分群について考える。

 $\langle \alpha^k, \alpha^l, \alpha^m \rangle$ であれば巡回群となる。 β を含む元を生成元としてもつ場合 $(\langle \alpha^k \beta, \alpha^l \beta, \alpha^m \beta \rangle$ 等)、式 (15) より α^k の形の元が含まれる。逆元が含まれるので、 α^k は $\alpha, \alpha^2 \alpha^3$ のどれかである。 β が生成される場合、 $\langle \alpha, \beta \rangle, \langle \alpha^2, \beta \rangle, \langle \alpha^3, \beta \rangle$ のどれかと一致する。 β が生成されない場合、 $\langle \alpha^2, \alpha\beta \rangle, \langle \alpha^3, \alpha\beta \rangle, \langle \alpha^3, \alpha^2\beta \rangle$ のどれかと一致する。

以上により D_6 の部分群は次の 16 個である。

$$[位数 1] \{e\} \tag{16}$$

[位数 2]
$$\{e, \alpha^3\}, \{e, \beta\}, \{e, \alpha\beta\}, \{e, \alpha^2\beta\}, \{e, \alpha^3\beta\}, \{e, \alpha^4\beta\}, \{e, \alpha^5\beta\}$$
 (17)

[位数 3]
$$\{e, \alpha^2, \alpha^4\}$$
 (18)

[位数 4]
$$\{e, \alpha^3, \beta, \alpha^3\beta\}, \{e, \alpha^3, \alpha\beta, \alpha^4\beta\}, \{e, \alpha^3, \alpha^2\beta, \alpha^5\beta\}$$
 (19)

[位数 6]
$$\{e, \alpha, \alpha^2, \alpha^3, \alpha^4, \alpha^5\}$$
 (20)

$$\{e, \alpha^2, \alpha^4, \beta, \alpha^2\beta, \alpha^4\beta\}, \{e, \alpha^2, \alpha^4, \alpha\beta, \alpha^3\beta, \alpha^5\beta\}$$
(21)

[位数 12]
$$D_6$$
 (22)